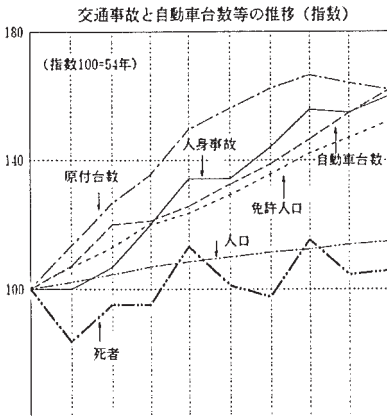


10. 安全

〔交通事故〕

交通事故は、昭和46年（人身事故5,430人）をピークとして、その後増減を繰り返しながらほぼ横ばい状態を続けてきました。ところが、昭和55年から再び逐年増加の傾向がみられ、昭和63年には初めて6,000人を突破しました。また、死者は、昭和45年（156人）をピークにして以後は増加、減少の波状的傾向で推移してきましたが、63年には119人と過去10年間では61年、58年に次ぐ発生がありました。

関連指標



97. 刑法犯認知件数

都道府県	人口千人当たり 刑法犯認知件数 (件)	順位
大東	20.36	1
福	19.02	2
千	17.66	3
広	17.25	4
島	16.73	5
和歌	16.18	6
北	15.48	7
高	15.04	8
愛	14.82	9
媛	14.67	10
滋	14.18	11
奈	13.63	12
京	13.63	13
神	13.59	14
奈	13.54	15
全	13.47	
崎	13.27	16
岡	12.79	17
兵	12.70	18
香	12.63	19
徳	11.79	20
島	10.73	21
茨	10.63	22
鹿	10.59	23
福	10.55	24
宮	10.38	25
長	10.31	26
佐	10.15	27
群	10.01	28
山	9.92	29
熊	9.86	30
新	9.59	31
福	9.40	32
栃	9.07	33
青	9.05	34
宮	8.76	35
秋	8.47	36
富	8.43	37
大	8.37	38
山	8.30	39
三	8.24	40
島	8.13	41
長	7.86	42
岩	7.80	43
石	7.64	44
山	7.62	45
岐	7.60	46
静	7.47	47

資料：警察庁刑事局「犯罪統計書」
調査時点：昭和63年
算出方法：刑法犯認知件数÷総人口

98. 交通事故発生件数

都道府県	人口10万人 当たり人身事故 発生件数(件)	順位
静岡県	773.0	1
岡山県	742.8	2
香川県	711.7	3
京都府	698.0	4
東京都	654.5	5
愛媛県	640.4	6
高知県	622.5	7
山梨県	612.8	8
栃木県	611.7	9
茨城県	609.2	10
徳島県	602.3	11
歌	600.1	12
佐賀県	584.5	13
大分県	566.0	14
兵庫県	560.2	15
福井県	556.6	16
鹿	549.3	17
奈良県	521.6	18
大分県	518.4	19
富山県	502.6	20
長石	498.7	21
福	486.7	22
三	484.7	23
愛	484.5	24
滋	482.4	25
山	479.4	26
茨	479.0	27
青	475.0	28
新	474.2	29
富	471.1	29
宮	469.7	30
奈	459.3	31
埼	453.5	32
神	453.3	33
奈	442.8	34
岐	440.3	35
東	435.4	36
千	434.2	37
島	433.3	38
北	405.2	39
海	389.9	40
岡	363.1	41
長	361.4	42
山	339.9	43
宮	325.1	44
岩	309.1	45
秋	307.1	46
沖	224.1	47

資料：警察庁交通局「交通統計」
 調査時点：昭和63年
 調査周期：毎年
 算出方法：交通事故発生件数÷総人口
 (注)人身事故のみ

99. 交通事故死亡者数

都道府県	人口10万人 当たり交通事故 死者数(人)	順位
山梨県	14.73	1
栃	14.27	2
茨	14.09	3
香	13.94	4
三	13.87	5
福	13.26	6
歌	13.03	7
和	12.13	8
滋	11.59	9
山	11.35	10
群	11.13	11
佐	10.89	12
静	10.47	13
岐	10.25	14
広	9.81	15
富	9.81	15
福	9.69	17
愛	9.68	18
長	9.66	19
北	9.60	20
岡	9.60	20
海	9.54	21
岩	9.50	22
青	9.37	23
熊	9.33	24
德	8.91	25
奈	8.84	26
高	8.68	27
秋	8.63	28
新	8.61	29
千	8.57	30
石	8.56	31
大	8.49	32
全	8.46	32
島	8.10	33
宮	8.08	34
宮	8.07	35
山	8.00	36
福	7.85	37
兵	7.70	38
埼	7.65	39
愛	7.63	40
鹿	7.53	41
児	7.31	42
奈	6.92	43
神	6.66	44
沖	6.66	44
大	5.72	45
長	5.42	46
東	4.04	47

資料：警察庁交通局「交通統計」
 調査時点：昭和63年
 調査周期：毎年
 算出方法：交通事故死亡者数÷総人口

〔火災〕

昭和63年中の出火件数は、342件で前年に比べ29件増加しました。本件では、昭和46年から59年まで出火件数全国最小を誇っていましたが、近年増加の傾向を示しています。

出火原因の大半は火の不始末や不注意から発生しています。こんろによる火災が38件（全火災の11.1%、前年34件）で前年に続き1位となり、次にたき火と放火の30件となっています。放火の疑いも含めると放火による火災は57件にのぼり、過去最高となりました。

関 連 指 標

火 災 件 数

年次	火災発生件数				罹災		死傷者数	
	総数	建物	林野	その他	世帯数	死亡	負傷	
昭和59年	277	196	21	60	217	16	53	
60	288	210	18	70	216	7	61	
61	311	223	23	65	184	24	59	
62	313	228	22	63	281	13	78	
63	342	253	22	67	243	19	75	

資料：消防防災課

100. 出火件数

都道府県	人口10万人 当たり出火件数 (件)	順位
広島	65.37	1
宮城	62.84	2
茨城	62.23	3
東京	59.08	4
東北	58.54	5
高知	58.17	6
三重	58.09	7
愛知	57.60	8
山梨	57.60	8
兵庫	57.24	10
栃木	56.12	11
山梨	54.77	12
福島	54.33	13
福井	53.70	14
静岡	53.63	15
岡山	53.07	16
山梨	52.16	17
徳島	50.59	18
千代田	49.64	19
大宮	49.50	20
奈良	48.81	21
愛媛	48.04	22
香川	47.08	23
鹿島	46.91	23
福井	46.64	24
秋田	46.52	25
長崎	45.93	26
青森	45.72	27
埼玉	45.57	28
北海	44.95	29
群馬	42.65	30
長崎	42.29	31
大佐	41.99	32
鳥取	41.33	33
鳥取	41.15	34
沖山	40.76	35
山梨	39.86	36
奈川	39.62	37
手瀨	38.35	38
新潟	37.15	39
滋賀	36.72	40
熊本	36.30	41
福井	32.61	42
石川	31.55	43
和歌	29.19	44
奈良	25.60	45
京都	20.06	46
富山	18.74	47

資料：消防庁「消防白書」
 調査時点：昭和63年
 調査周期：毎年
 算出方法：出火件数÷総人口